

みずほCustomer Desk Report 2018/01/31号 (As of 2018/01/30)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.02
TKY 9:00AM	108.95	1.2381	134.90	GBP/USD	1.4076
SYD-NY High	109.20	1.2454	135.21	AUD/USD	0.8113
SYD-NY Low	108.42	1.2335	134.13		1.3980
NY 5:00 PM	108.77	1.2402	134.93		1.4150
NY DOW	26,076.89	▲ 362.59	日本2年債		-0.1300
NASDAQ	7,402.48	▲ 64.02	日本10年債		0.0900
S&P	2,822.43	▲ 31.10	米国2年債		2.1263
日経平均	23,291.97	▲ 337.37	米国5年債		2.5080
TOPIX	1,858.13	▲ 22.32	米国10年債		2.7227
シカゴ日経先物	23,215	▲ 45.00	独10年債		0.6835
ロンドンFT	7,587.98	▲ 83.55	英10年債		1.4600
DAX	13,197.71	▲ 126.77	豪10年債		2.8490
ハンセン指数	32,607.29	▲ 359.60	USDJPY 1M Vol		8.70
上海総合	3,488.01	▲ 34.99	USDJPY 3M Vol		8.75
NY金	1,340.00	▲ 5.10	USDJPY 6M Vol		8.70
WTI	64.50	▲ 1.06	USDJPY 1M 25RR		-1.16
CRB指数	198.14	▲ 1.40	EURJPY 3M Vol		8.75
ドルインデックス	89.19	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol		8.69

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月30日	8:30	日 失業率	12月 2.8%	2.7%
	19:00	欧 GDP-速報値(前期比/前年比)	4Q 0.6%/2.7%	0.6%/2.7%
	22:00	独 消費者物価指数-速報値(前月比/前年比)	1月 -0.7%/1.6%	-0.6%/1.7%
1月31日	0:00	米 消費者信頼感指数	1月 125.4	123.0
	1:30	米 ムニューシンの米財務長官「長期的には強いドルを断然支持する」		

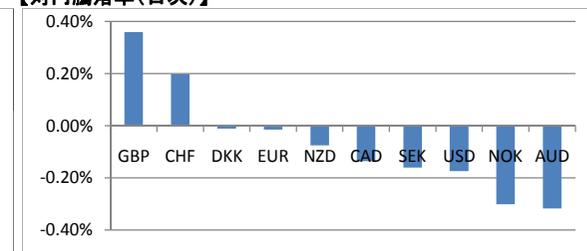
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月31日	8:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)	12月 1.5%/3.3%	0.5%/3.6%
	9:30	豪 CPI(前期比/前年比)	4Q 0.7%/2.0%	0.6%/1.8%
	10:00	中 製造業PMI	1月 51.6	51.6
	11:00	米 一般教書演説	-	-
	19:00	欧 CPI/CPIコア(前年比)	1月 1.2%/1.0%	1.4%/0.9%
	22:15	米 ADP雇用統計	1月 185k	250k
	23:45	米 シカゴ購買部協会景気指数	1月 64.0	67.8
2月1日	4:00	米 FOMC政策金利	1月 1.25%-1.50%	1.25%-1.50%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.20	1.2350-1.2500	134.00-135.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は、一旦下値を確認後、小幅に上昇する展開となった。世界的な株安の流れを受けてリスク回避地合いが強まり、108.42円まで下押しした。しかし、その後は米1月消費者信頼感指数が市場予想を上回ったこと等が支援材料となり108円台後半に値を戻した。本日のドル/円は、上値の重い展開を予想する。東京時間11時に開催される、トランプ大統領による一般教書演説の内容に注目が集まる。移民政策や通商問題に関して保護主義が強調されるようであれば、ドル売りが強まる局面が想定される為、注視したい。

東京	東京時間を108.95レベルでオープン後、仲値にかけて109円台へ一時的に乗せるも、一巡後は軟調な日経平均を横目に108.70台まで反落。その後、米10年債利回りがか2014年4月以来の水準にまで上昇する中、大宗の主要通貨に対してドル買い優勢地合いとなり、ドル円は一時109.20まで上昇した。しかし、米金利が軟化し、日経平均も後場に入り一段安となる展開に、ドル円は下落に転じ、一時108.61まで下値を試し、108.70レベルで海外に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.70レベルでオープン。ロシア疑惑を巡り、マケイFBI副長官が辞意を表明したことで、米大統領の司法妨害への懸念が一層強まったことが意識されてか、ドルが軟調に推移、108.53まで売られ、108.66レベルでNYに渡った。ユーロは、1.2356レベルでオープン。カタルーニヤ自治州議会が、プッチェモン首相の再信任表決を延期したことで、地政学リスクが和らいだ他、月末のユーロ買い需要も相俟って堅調に推移。1.2427レベルでNYに渡った。ポンドは、1.4029レベルでオープン。メイ首相退陣圧力が強まる中、1.3980まで下落するも、NY時間の米一般教書演説や、明日のFOMCの結果公表を控え、ポジション調整的にポンドが対ドルで1.4138まで反転、1.4117レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、108.66レベルでオープン。朝方は「米大手3社が米国内の従業員に対し低コストのヘルスケアを提供する独立企業を設立予定」との報道を受けてヘルスケア関連株の大幅下落が懸念され、米株先物も大幅安となる中、ドル円は安値108.42まで下落。しかしその後発表された米1月消費者信頼感が予想を上回ったことや、ムニューシンの米財務長官の「長期的には強いドルを支持する」との発言を受けてドル買いが強まり108.93まで上昇。しかし、109円台を回復することは無く、米株もマイナ幅を拡大する中、ドル円は108.80付近での推移が続いた。その後も今夜のトランプ大統領の一般教書演説、明日のFOMC結果発表と大きなイベントを控え狭いレンジでの推移が続き、108.77レベルでクロスした。一方ユーロは海外市場の流れを引き継ぎ、高値1.2454まで上昇したが、この水準ではユーロ売り意欲も強く、ムニューシンの米財務長官の上記発言もあり1.2384まで下落。その後は大きなイベントを控え1.2400付近での推移が続き、1.2402レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・坂本